## vol.409

2024 令和6年

今月の表紙「たくさん食べれて幸せ!」(撮影:中川 めぐみ 様) 第11回 未来に伝えたい農業・農村の風景フォトコンテスト入選作品



転者とするらしい。 いる「反則金」について、その対象を16歳以上の運 れ、飲酒運転やあおり運転など重大な違反は、刑事 警察庁は、自転車の交通違反への導入を検討して 自転車の交通違反の反則制度は2つに区分さ あ ぜ み 5

用して運転する「ながら運転」など115種類を想 号無視、逆走、歩道通行、スマートフォンなどを使 る。これら以外の違反行為、例えば、一時不停止、信 処分の対象となる交通切符(赤切符)の交付とな

定している。こちらは反則切符(青切符)が交付さ

れ、反則金が科せられる。

反行為を続けた時や、悪質、危険で迷惑性の高い違

実際の取り締まりは、警察官の警告に従わず違

調査はJAF(日本自動車連盟)が7年前から実施 反を対象とするようだ。 道路交通法では、車の運転手は、信号機のない横断 使った広報活動が一定の効果を上げたとみている。 け、熊本県警も取り締まりの強化や電光掲示板を は6・7%という低い状況であった。この状況を受 1%となり、九州で1位、全国で4位となった。この のために一時停止する車の割合は、熊本県内で66 しているが、調査当初の平成29年の熊本県の数字 先般発表された信号機のない横断歩道で歩行者

梨ルール、佐賀のよかろうもん運転、など各地で危 険な運転が横行している。事故を引き起こす可能 を呼び掛けるが、撲滅はなかなか難しい。 性があるため、地元警察などは交通ルールの厳守 んでいる。他にも名古屋走り、伊予の早曲がり、山 者よりも先に右折する行為を「茨城ダッシュ」と呼 青信号に変わった瞬間に「猛ダッシュ」で対向直進 転「ご当地走り」をご存じだろうか。停止中の車が さて、皆さんは交通ルールを無視した危険な運 歩行者も自転車・車の運転者もお互いに譲り合

らないと定めている。

る場合は、必ず歩道の手前で一時停止しなければな 歩道を歩行者が横断中または横断しようとしてい

いと思いやりが大切である。

# 本県農業政策 予算を要望

と予算の要望を行いました。 会議長に対して、令和6年度の農業政策 日に県知事と自民党県連へ、18日に県議 JAグループ熊本と県農政連は12月13

業、野菜価格安定対策事業など、57事業 まもと土地利用型農業競争力強化支援事 予算では、水田産地化総合推進事業、 におよぶ約191億1500万円を要望 体の代表者と農政連委員等で、農業関連 県庁等を訪れたのは熊本県内12農業団

るとともに、 農村基本法の基本理念に明確に位置づけ から食料安全保障の達成」を食料・農業 また、農業政策要望においては、「平時 食料安全保障の状況を評価

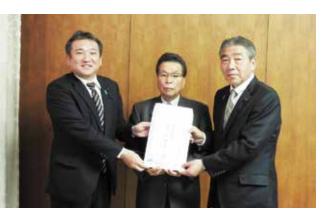
> を訴えました。 新規就農者・担い手等への支援強化、 設の老朽化に伴う再編整備等への支援、 年輸送問題に関する支援、共同利用施 まえたスマート農業の推進、2024 醸成、みどりの食料システム戦略を踏 適正な価格形成の実現と国民への理解 ました。その他の重点項目としては、 緩和対策の拡充と必要な支援策を求め ました。また、総合的な生産資材影響 対処する仕組みを具体化するよう求め

山積する中、基本法改正に伴う関連施 や物流問題への対応など、重要課題が 料安全保障の強化をはじめ、 JA熊本中央会の宮本隆幸会長は「食 価格転嫁

> 障の一翼を担えるよう本県農業の振興に 農業団体と連携しながら食料の安全保 な予算の確保が必要だ」と訴えました。 策について、実効ある具体的施策と万全 しっかり取り組んでいきたい」と話しま 要望を受け、蒲島郁夫知事は「今後も

の要望の声が上がりました。 よる代替農地の確実な確保、若手農業者 産・酪農の窮状や半導体関連企業進出に が意欲をもって農業に取り組める支援等 意見交換では各団体の代表者から、畜

ました。 自民党県連の松田三郎幹事長へも提出し 要望書は、 熊本県議会の渕上陽一議長、



-プの代表者

蒲島知事への要請を行うJAグル-

一熊本県議会議長(右)と内野幸喜副議長(左)に ▲渕上陽· 要請書を手渡す宮本隆幸会長(中央)



13

- 15 14 品目別対策
  - 労働力確保対策
- ①水田·畑作農業政策

### ▲自民党県連の役員に要請を行うJAグル-

12

づくり対策

### 重点要望事項

- 食料安全保障に向けた基本政
- 2 生産資材高騰対策等の継続・拡充 の具体化と予算の拡充
- 適切な価格形成の実現と国民 の理解醸成

4

3

みどりの食料システム戦略を踏 定とその実現に向けた支援 まえたスマート農業の推進等 「地域計画」(人・農地プラン)の策

5

農地の集積・集約化及び遊休農地 対策の取り組みの強化

6

- 7.土地改良施設の老朽化等に関 る必要予算の確保 す
- 8.2024年輸送問題に関する支 援の拡充
- 9. 生産者向けの補助事業の要件緩 和
- 災害、感染症、鳥獣害に強い農業 共同利用施設の老朽化に伴う再 編整備等への取り組み支援

11

10

- 半導体関連企業進出による代替 農地での営農継続支援
- 新規就農者、担い手等への支援強 化

# 令和6年度畜産・酪農全国代表者大会」が

者や、JA、酪農協の代表者ら約 りに開催し、オンラインも含め、生産 能な畜産・酪農経営の実現に向けてJ 1500人が参加しました。 Aグループの政策提案の実現を求める 一畜産・酪農全国代表者大会」を14年ぶ JA全中は11月30日、東京で持続可

用改善等を求めました。 るための基本方針(酪肉近)の見直し 引き続き措置するとともに、令和6年 要の低迷などが重なり、生産現場は全 給問題や畜安法に関する不公平感の運 に向けた検討を見据え、牛肉・生乳需 度の酪農及び肉用牛生産の近代化を図 を後押しする万全な畜産・酪農対策を 用拡大や環境負荷低減などの取り組み 生産現場における国産飼料の生産・利 可能な畜産・酪農経営の実現に向け 国的に営農継続が危ぶまれるほどの甚 の低迷や肉用子牛価格の下落、生乳需 大な影響を受けていることから、持続 高止まりに直面するなか、牛枝肉価格 今回の政策提案は、 生産資材価格の

を表明しました。 も危ぶまれる」と強調し、 産物を供給できなくなり、 消費者に安全・安心で高品質な国産畜 農生産基盤の弱体化で、このままでは JA全中の山野徹会長は「畜産・酪 強い危機感 地域の存続

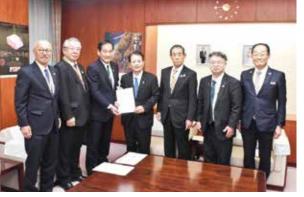
康畜産・酪農対策委員長、 の江藤拓総合農林政策調査会長、 大会には与党代表者として、自民党 公明党の角

> 田秀穂農林水産部会長が出席し、畜産 指す考えを強調しました。 酪農が地域経済の維持に果たす役割を 十分に踏まえ、対策や予算の充実を目

の決意を共有しました。 酪農分野における食料安全保障の強化 と万全な経営安定対策等の取り組みへ 政策提案に関する今大会で、 畜産

利JAオホーツクはまなす代表理事組 ありました。 安定対策の重要性について意見表明が 合長の3名から適正な価格形成や経営 柴田瑞穂秋田県新林牧場代表、 岩崎勝也宮崎牛肥育牛部会長会会長: 永峰勝

拍手により採択されました。 より大会決議が読み上げられ、 最後に谷口俊二JA全中畜産委員長 満場の



-郎農水大臣(右から4人目:当時)に要請書を 手渡すJAグル -プの代表者

## JAグループ熊本と熊本県農政連は どうなるかわからない。農家が安心して の転換・開発が進み、3年後、5年後が

11月30日、衆議院議員会館で県選出国 農政策に関する要請を行いました。 会議員に対し、令和6年度の畜産・酪

農業経営を継続できるような対策を考

えていただきたい」と訴えました。

り、農業経営に甚大な影響を受けてい 力な政策支援を求めました。 る。第一次産業は食料安全保障から考え 格の下落、生乳需要の低迷などが重な なか、牛枝肉価格の低迷や肉用子牛価 洋会長は「生産資材価格の高止まりの れば非常に大事な産業だ」と述べ、強 冒頭、 熊本県酪連 (全酪連)の隈部

番自覚されている。今回の要請を一つ一つ

なれば地域が無くなることは皆さんが

坂本哲志衆議院議員は「農業が無く

晴副組合長は、「TSMCの進出で農地 畜産・酪農地帯であるJA菊池の森正

員からも力強い支援の発言がありまし と述べました。 額回答を引き出すように頑張っていく」 頭において少しでも実現できるよう、満 成志参議院議員や藤木しんや参議院議 他にも、西野太亮衆議院議員、馬場



3

### 1

- ①適正な価格形成、飼料価格高騰 保障の強化 畜産·酪農分野における食料安全
- ②飼料自給率向上対策
- ③堆肥等の有効活用、環境負荷 減等の促進 軽
- 2. 万全な経営安定対策の措置等 4生産基盤対策の継続・強化
- ②繁殖経営、肉用牛肥育·養豚 、酪農経営
- 営、食肉·家畜流通対策 経
- 輸出促進対策の継続・強化 生乳需給・流通対策の強化 家畜衛生対策の強化

5 4

### 

## 第212回臨時国会の閉会

## 【臨時国会閉会と

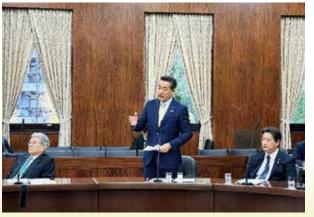
## 今後の農業政策について】

たしました。

林水産省に対して質問いたしました。 私は、議院運営委員会理事の一人として、目まぐるしく変転する国会運営をを知に関する質疑に立ち、①飼料自給率向上と堆肥等の有効活用、環境負荷率向上と堆肥等の有効活用、環境負荷率の強化③家畜衛生対策の強化④輸出について、4点を農産対策の継続・強化について、4点を農産対策の継続・強化について、4点を農産対策の継続・強化について、4点を農産対策の継続・強化について、4点を農産対策の継続・強化について、4点を農産対策の機能が表した。

用手続きの国の関与を強化する「農地料・農業・農村基本法」に加えて、農地転、大学・農村をです。また、法の正としては、平成11年以来となる「食機対応関連・スマート農業支援関連)の安全保障の強化に向けて2本(食料危安全保障の強化に向けて2本(食料危

れています。置法」の改正法案の提出などが予定さする「特定農産加工業経営改善臨時措融資で支援し、国産利用の拡大を意図法」や小麦や大豆の加工事業社を低利



▲12月5日参議院農林水産委員会での質疑の様子

# 食料安全保障の農政問題にがり込むを議院議員山田としおの全国・県農政連推薦

検討していくことされています。具把握も比較的可能な品目から、順次み」は、流通経路が簡素で、コストの「適正取引を推進するための仕組

か、心配になるところです。れ、必要な仕組みがいつ創設されるの県の主な農産品について、いつ頃検討さて、すでに検討が始まりました。自分の体的には、飲用牛乳、納豆・豆腐につい

策の構築に向けて、頑張っていきます。は、都市農業振興基本法を活かす、都市農業の実態に即した支援策の構築の変にあるという役割も果たしており、農業を理解してもらう現場が住居の近く業を理解してもらう現場が住居の近く業を理解してもらう現場が住居の近く業を理解してもらう現場が住居の近く業を理解してもらう現場が住居の近く業を理解してもらう現場が住居の近く業を理解してもらう現場が住居の近くがあるという役割も果たしており、副き続きを発揮しています。都市農業振興基本法を活かす、都市は、都市農業振興基本法を活かす、都市は、都市農業振興基本法を活かす、都市農業振興基本法を活かす、都市農業振興基本法を活から、場合の構築に向けて、頑張っていきます。



▲宮下農林水産大臣と

設園芸・畜産など、多種多様な農畜産物を生産しています 熊本県のJAくま青壮年部は、現在8支部425名で活動しております。管内では水稲・野菜・果樹・施

女性部との意見交換会等を通じたJA運営へ積極的に参加・参画しています。 主な活動としては、農政活動をはじめ、食育活動や研修会等を通じた生産・経営基盤の確立、JA役員

目的です。子ども達は悪戦苦闘 しながらも笑顔で取り組んでく

対する理解を深めてもらい、食 苦労や収穫の喜びなど、農業に どもたちに作物ができるまでの 行っています。次世代を担う子 菜などを育てる農業体験活動を 生を対象に田植えや稲刈り、 べ物を大切にしてもらうことが 管内各支部では、園児や小学

たいと考えています。 と「農」の大切さを伝えていき れています。引き続き、「食



す

-武小野菜苗植え

りを目指します。 見通した自立農業経営を確立 予選会を毎年開いています。 「盟友の主張」発表大会の地区 農業の担い手として、将来を 明るく豊かな地域社会づく

のさらなる発展を目指していま 相互研鑽を図り、 また、活発に意見交換を行い 青壮年部組織



令和5年度青壮年部大会(盟友の主張)で 発表する愛甲和也氏

▲木上小·木上ひかり保育園稲刈り

盟友の主張

青壮年部では、農業経営や青

望・意見・提言などを発表する 壮年部活動、将来に向けての希





## 最後にひとこと

吉球磨の農業を盛り上げていき まな活動を通じてこれからの人 たいと考えています。 JAくま青壮年部は、 さ ま ざ

## A運営に参加

性化に努めています。 ら意見や要望を伝えることで、 ています。 A常勤役員と意見交換会を開い 人吉・球磨地域の農業振興と活 青壮年部・女性部は、 青年農業者の立場か 毎年J



▲恋活(いちご園での婚活)

## KOIKATSU

実した内容にしていきたい考え ました。今後も工夫しながら充 雰囲気で盛り上がる内容となり ティーと、和気あいあいとした ながらのパン作りや、交流パー してイチゴ狩り、男女が協力し ています。昨年度は農業体験と ることを目的に、 ています 青壮年部の独身盟友を対 男女の出会いの場を提供す 婚活を実施し

# 第48回「ごはん・お米とわたし」

本市で「第4回『ごはん・お米と たし』作文・図画コンクール JA熊本中央会は12月9日、熊 した。

良さと食料や農業の大切さを学んでも

)表彰式を開催しました。 お米の

中学校から作文の部に992点、図画 中学校3年)が選ばれました。県内小 画の部で中村心美さん(熊本県立八代 和さん(山鹿市立山鹿小学校2年)、図 らう狙いで毎年開催しています。最高賞 っており、 はん」を中心に、入院しているお母さ の部に2、169点の応募がありました。 の熊本県知事賞には、作文の部で船津 母さんの温かい関係が伝わる作品とな んを思いやる家族、家族を思いやるお しながら家族で楽しそうに調理してい 船津さんの作文は、「白いあったかご 中村さんの図画は、

> 器の水面に映る作者の笑顔が印象的で る様子が伝わり、お米を研いでいる容

れぞれ優秀賞に輝きました。 尾上小学校2年)、山本菜月さん(熊 図画の部では服部純佳さん(熊本市立 さん(熊本県立八代中学校3年) 本市立田迎南小学校5年)、中村心美 ん(熊本市立出水小学校5年)と加藤 花さん(熊本市立帯山中学校2年)、 ノクールでは作文の部で勘米良佐和さ この他、JA全中が実施した全国コ がそ

す」とあいさつしました。 熊本は、これからも皆さんを応援しま じ取ってほしい。 私たちJAグループ や友達を大切にする心などを改めて感 食べ物の大切さや農業の役割 JA熊本中央会の宮本隆幸会長は 家族

### JA経済連

第22回RKK学童駅伝大会に協賛

# 作文・図画コンクール表彰式を開催 JA熊本経済連は12月16日、熊 ~くまもとのおいしいもので子どもたちを応援

間8キロを駆け抜けました。 小学4年生から6年生の児童が、5区 R。大会には約700人の参加があり を担う子どもたちを応援し、県産農畜 産物の提供を通じて食と農の魅力をP 開かれた「第22回RKK学童駅伝 本市のえがお健康スタジアムで 大会」に特別協賛しました。未来

どうポーク」、熊本県オリジナル品種の 飯セットなどの豪華賞品を贈りまし では、味彩牛、ゆうべにいちご、冷凍炒 プレミアム「和王」や「くまもとのりん した。併せて企画したお楽しみ抽選会 お米「くまさんの輝き」などを贈呈しま た。また、参加賞として「くまさんの輝 入賞チームには、くまもと黒毛和牛

> ジェレ」、「湧雅のここち」のティーバッ クを配布しました。 き」のおにぎりと、ミニトマト「アン

チャレンジをしていただきたい」と激 くさん練習してたくさん食べて様々な 励しました。 して、入賞目指して頑張ってほしい。た つで「日頃の練習の成果をしっかり出 同連の梶原哲代表理事専務はあいさ





▶作文の部

▲表彰式の様子

「初めての挑戦

▲ゴールテープを切る選手

KU A



5

### JA共済連

## スタントマンによる :車交通安全教室を開催しました-

を熊本県警察と共催で開催してい 故のない社会へ』をスローガン に 「JA共済自転車交通安全教 A共済では毎年、『自転車事

室

学校、熊本西高等学校、 の4校で開催しました。 今年度は人吉高等学校、 菊池高等学校 濟々黌高等

うものです 交通事故の怖さを疑似体験させるとい 対象に、プロのスタントマンが自転車 の危険走行による交通事故を再現し、 この自転車交通安全教室は中高生を

ば事故が起こらずに済んだのか正しい 子でした。再現の後は、どうしていれ シーン、交差点で自転車と車が衝突し、 機会となりました。 れが交通安全についての意識を深める マナーの確認も改めて行われ、 交通事故の恐ろしさを実感している様 力のあるスタントに、生徒の皆さんも などを再現。 自転車が大きく跳ね飛ばされるシーン 反の運転により自転車同士が衝突する 乗りや、ながらスマホなどのルール違 スタントマンたちは、自転車の2人 すぐ目の前で行われる迫 それぞ

に貢献する活動に取り組んでいきま 機関のご協力のもと、このような地域 今後もJA共済は、 県下JA・関係

す



▲自転車の危険走行を原因とする、車との事故の再現

神的な衰えが見られ、社会とのつなが 事を指し、 康な状態と要介護や寝たきりの間 老年医学会によって提唱され、 となっており、2014年に日本 フレイルとは、「虚弱」が語 加齢によって身体的・精

0

供存货 健康と要介護の間 tost

### 低下につながります。 化と疾病です。 ★老化→筋力や□腔機能、 フレイルを引き起こす2大要因は老

認知機能の

【フレイルが起こる原因】

▲自転車とバイクの衝突事故の再現

孤立など多くの問題が関係している場 性腎臓病などの生活習慣病が考えら 合もあります。 ると考えられます。 ★疾病→高血圧、糖尿病、 なお2大要因以外も、 治療がうまくいかずフレイルにな 飲酒や喫煙 脳卒中や慢

## 「フレイルとは

診断方法・チェック項目

レイルについて

りが減少した状態」のことを表します。 源 ಕ್ತ うち、3項目以上該当するとフレイル、 速度低下、⑤身体活動低下の5項目の 重減少、②握力低下、③疲労感、④歩行 前段階であるプレフレイルと判断しま 1~2項目だけの場合にはフレイルの 身体的フレイルの判定基準より、①体

## フレイルの予防・改善

いて改善していく事が大切です。 か、初期段階(プレフレイル)で気づ 十分に可能であり、フレイルになる前 習慣を改善することで回復することも フレイルは早期発見できれば、

を目指しましょう。 元気に健康で長生きする、 る『栄養・運動・社会参加』を実践し、 「健康長寿の3本柱」と言われてい 理想の老後





もしものときの、頼れる保障。



JAの自動車共済クルマスターなら、 充実した保障とサービスを ムダなくお得に備えられます。

くらしの保障、相談するなら



※ご加入にあたりましては、お近くのJAへお問い合わせください。 ■JA共済ホームページアドレス https://www.ja-kyosai.or.jp





撮影:小崎 正大 様 第11回 未来に伝えたい農業・農村の風景 フォトコンテスト入選作品

「おいしい夢未来みかん」

### い求めることがなくなりました。 ろからか庭木が減り、 も今では緑の少ない住宅になりました。 発行/熊本県農業者政治連盟 芝生の庭にたくさんの樹木があった我が家 植木まつりで樹木を買

編集責任者/中村 隆宏 熊本市中央区南千反畑町2-3

●発行日/令和6年1月15日·毎月1回15日発行 定価/1部50円(但し、会員の購読料は会費の中に含む)

者に依頼すると費用が掛かります。 ばならないもので、自分で行えば労力が、

いつのこ

業

派な庭を造っていらっしゃいました。

庭木の剪定と消毒は毎年行わなけ

ていたようで、どこの家庭でも競うように立

昔は、一軒家を建てると次は庭造りと決まつ

ませんでした。 いでした。 の緑色と梅のピンクがマッチしてとてもきれ

梅の実がなることはあり

にはピンクの花を咲かせて庭のモチノキや松

ンで吊るし庭に植えてくれました。

毎年3

生懸命に探し回ります。住宅を新築した時に、

安くて見栄えのいい樹木を一

しだれ梅を購入しました。 業者さんがクレー

てたくさんの食べ物屋さんが出展され、

地面

多くの木々や盆栽、巨大な松・槇の木、

月27日から始まるJA植木まつりでは

